

令和4 年度 西明石こだま公園ほかスプリング遊具更新工事

工事設計図書

工事番号

路線名等 西明石こだま公園ほか

工事箇所 明石市西明石西町1丁目90番ほか

工 種 造園または土木一式

契約数量表

	費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
本工事費						
施設整備						
公園土工						
作業土工			式		1	
床掘り(掘削)						
床掘り		土砂 上記以外(小規模)	m3		8.4	
埋戻し						
埋戻し		上記以外(小規模) 土砂	m3		7.9	
遊戯施設整備工						
遊具組立設置工			式		1	
スプリング遊具						
遊具設置		ハニー (株コトブキ)	基		2	
遊具設置		ツイスター (タカオ株)	基		1	
遊具設置		リンクミニしょうぼうしゃ (日都産業株)	基		4	
遊具設置		ノリノリレーシングカー (株中村製作所)	基		1	
遊具設置		リンクミニひこうき (日都産業株)	基		1	
遊具基礎工			式		1	
遊具基礎						

契約数量表

頁0-0002/0003

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
基礎碎石	碎石厚->7.5cmを超え12.5cm以下	m2		3	
型枠	一般型枠	m2		6	
コンクリート	小型構造物	m3		0.8	
型枠	一般型枠	m2		0.1	
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	m3		0.02	
構造物撤去工					
構造物取壊し工		式		1	
コンクリート構造物取壊し					
構造物とりこわし工	無筋構造物	m3		0.5	
運搬処理工		式		1	
殻運搬					
殻運搬	コンクリート(無筋)構造物とりこわし	m3		0.5	
殻処分					
処分費	コンクリート殻(無筋)	式		1	
現場発生品運搬処分					
運搬費		台		1	
処分費	[]	式		1	
公園施設等撤去・移設工					

特記仕様書

工事名	西明石こだま公園ほかスプリング遊具更新工事
工事場所	明石市西明石西町1丁目90番ほか
工期	令和5年2月20日

第1条 総則

1-1. 適用

本仕様書は、設計書および図面に優先する。

設計図書（明石市工事請負契約約款第1条に規定する設計図書）に記載されていない事項は、兵庫県土木請負工事必携（令和3年10月一部改訂版）、兵庫県土木工事共通仕様書（令和3年10月一部改訂版）、兵庫県土木工事施工管理基準（令和3年10月一部改訂版）、「小型構造物標準図集」（H25.12 第3回改訂版）ならびに、独立行政法人都市再生機構「造園施設標準設計図集」（平成30年度版）によるものとする。（その他追加通知を含む）

1-2. 設計図書の照査

本工事の施工に当たっては、事前に設計図書の照査を行うものとし、施工条件と工事現場が一致しない等の事実を発見したときは、監督員に確認できる資料を書面により提出するものとする。なお、定めのない事項や疑義が発生した事項についても同様に協議により決定するものとする。

1-3. 工事用地等

（工事用地）

事業用地は公園用地であることから、公園利用者の利用及び安全等に十分配慮し、施工するものとする。

1-4. 工事の着手及び完了

工程管理を適切に行い、工期を厳守すること。

1-5. 施工条件

受注者は、日曜日及び国民の祝日は、工事を行わないこと。また、作業時間は午前9時から午後5時（休憩時間1時間含む）までとし、準備・跡片付け等は、前後30分程度とする。

1-6. 施工計画書

受注者は、工事着手前に施工計画書を監督員に提出し、監督員の承諾を得た後に着手しなければならない。

1-7. 工事カルテ

受注者は、受注時または変更時において工事請負代金額が 500 万円以上の工事について、工事实績情報サービス（コリンズ）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、完成時は工事完成後 10 日以内に、監督員の確認を受けたうえ、登録機関に登録申請しなければならない。なお、登録内容に訂正が必要な場合は、工事实績情報サービス（コリンズ）に基づき、「訂正のための確認のお願い」を作成し、訂正があった日から 10 日以内に、監督員の確認を受けたうえ、登録機関に登録申請しなければならない。

変更登録は、工期又は技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金額が 2,500 万円を跨いで変更があった場合には、変更後の請負代金額の則った登録を行うものとする。

また、登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が 10 日に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

1-8. 施工体制台帳

（施工体制台帳）

施工体制台帳の提出が必要な工事について、受注者は、所定様式（工事担当技術者）を追加して施工体制台帳を作成し工事現場に備えるとともに、監督員に提出するものとする。なお、様式には監理技術者、主任技術者（下請負を含む）及び元請負の専門技術者（専任している場合のみ）の顔写真、氏名、生年月日、所属会社名を記載するものとする。

（現場の管理）

受注者は監理技術者、主任技術者（下請負を含む）及び元請負の専門技術者（専任している場合のみ）に、工事現場内において、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させるものとする。

1-9. 請負者相互の協力

本工事が他工事と競合する場合、業者間の連絡を密にし、工程等の調整を行い、施工を速やかに行うこと。

1-10. 建設副産物

（再生資源の利用の促進）

受注者は、建設副産物適正処理推進要綱（建設事務次官通達、平成 14 年 5 月 30 日）を遵守して、建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用を図らなければならない。

1. 提出様式

本工事については、再生資源の活用促進に関する法律に基づく再生資源利用計画及び

再生資源利用促進計画を作成するものとする。なお、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画及びその実施状況の記載する様式については、建設副産物情報交換システム上の建設リサイクルデータ統合システムに登録することとする。

2. 提出方法

作成した再生資源利用【促進】計画書（実施書）は、1部は自社で工事完成後1年間保管し、計画書、実施書を各1部と実施書のデータCDを監督員に提出するものとする。

（残土・ガラ処分について）

1. 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律「建設リサイクル法」に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
2. アスファルト・コンクリートガラは、中間処理(再資源化)とする。
3. ガラ運搬については処分地まで直接運搬とする。
4. 土砂・ガラの運搬に際し、シート等にて土砂が飛散しないようにし、一般利用者に迷惑のかからないように留意すること。
5. 交通法規を遵守し、特に過積載のないよう管理すること。
6. 残土は場内処分とする。公園の利用の妨げにならない場所に処分すること。また、不足土は公園内土を流用すること。
7. 施工計画書に記載した処分地を変更する場合は、監督員と協議のこと。
その他、残ガラ処分について、以下のとおりとする。

1. 建設廃棄物の搬出先

建設廃棄物の搬出先は、積算条件として、以下を設定している。
再資源化等をする施設の名称及び所在地等

品目	コンクリート塊(無筋)
施設の名称	田口建材(株)明石資材
運搬距離	8.4 Km
所在地	神戸市西区平野町中津1337-3
品目	廃プラスチック
施設の名称	大阪湾広域臨海環境整備センター(播磨基地)
運搬距離	13.8 Km
所在地	加古郡播磨町新島13-1

上表については、積算条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではなく、受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき施工計画書に含め、監督員に提出しなければならない。なお、受注者の選定した施設が、積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設からの登録抹消等により受け入れ困難となった場合は、設計変更を行う。

1-11. 履行報告

受注者は、工事履行報告書を別添の様式に基づき作成し、工程表及び工事状況写真を添

付し、毎月末に監督員に提出しなければならない。

1-12. 工事中の安全確保

(法令遵守)

受注者は、関係諸法規を遵守し、現場内外の安全管理に万全を期し、工事施工に伴う諸手続きは、請負人の責任において関係諸官庁に提出し許可を得ること。

(地下埋設物件の事故防止)

1. 工事の施工にあたって予想される地下埋設物件は、管理者と現地立会のうえ、当該物件の位置・深さを確認し、保安対策について十分打合せを行ない、事故の発生を防止すること。
2. 受注者の責により地下埋設物件に損害を与えた場合は、すみやかに監督員に報告するとともに関係機関に連絡し応急措置をとり、受注者の負担によりこれを補修しなければならない。
3. 埋設物件等の管理者不明のものがある場合は、監督員に報告し、その処置については、占用企業者全体の立会を求め、管理者を明確にしなければならない。その結果、死管の処置を請負人が企業者より依頼を受けた場合には、文書によってその責任を明確にしておかなければならない。

(道路付属物ならびに占用物件の処置)

工事施工のため支障となる道路の付属物並びに占用物件がある場合には、その処置について予め監督員と協議するものとし、その結果、変更が生じた場合は設計変更の対象とする。

(その他安全対策)

1. 受注者は、工事中のすりつけ及び段差表示等安全対策は、特に徹底すること。特に舗装工におけるすりつけは入念に行うものとし、道路幅員が変化する箇所や舗装面に段差が生じる場合には、注意看板の設置や夜間照明等の安全対策を行うこと。
2. 受注者は、工事中の仮区画線の明示・工事予告看板の設置を徹底すること。
3. 受注者は、歩行者や自転車等の通行に必要な仮歩道を設けるとともに、交通誘導員にて的確に誘導させること。
4. 受注者は、歩行者や自転車等が通行する箇所で建設機械を使用する場合は、保安要員を配置すること。
5. 地元自治会及び小学校など、関係者と密に調整を行うこと。

1-13. 後片付け

遅滞なく供用を開始できるように、確実かつ円滑に引き継ぎを行うものとする。

1-14. 環境対策

(低騒音型・超低騒音型の使用)

本工事箇所は、特に生活環境を保全する必要がある地域であるので、施工にあたっては、

原則、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定にもとづき指定された建設機械を使用すること。なお、コンクリート構造物（既設護岸・既設水路など）の取壊しは、コンクリート圧砕機を使用することとしており、それに加えて近隣住民への影響を最小限に抑える措置も十分講じること。ただし、小規模工事等においてコンクリート圧砕機を使用することが困難な場合、監督員と協議し、その他の方法による取り壊しを認めるものとする。

（排出ガス対策型建設機械）

本工事において下表に示す建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、「建設技術評価制度」又は「民間開発建設技術の審査証明事業」により評価された「排出ガス浄化装置」を装着した建設機械を使用することで同等とみなす。ただし、受注者の都合による場合を除き、これにより難しい場合は、監督員と協議のうえ、設計変更するものとする。

上記において、「これにより難しい場合」とは、供給側に問題があり、排出ガス対策型建設機械を調達することができない場合であり、受注者の都合で調達できない場合は認めないものとする。

なお、施工現場において使用する建設機械が排出ガス対策型建設機械であることを確認できる写真を撮影し、監督員に提出するものとする。

機 種	備 考
<ul style="list-style-type: none"> ・バックホ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット <p>（以下に示す基礎工事用機械のうち、ベアマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの： 油圧ハンマ、バグロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入・引抜機、アスオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレションドリル、アストリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ホイールクレーン 	<p>ディーゼルエンジン （エンジン出力7.5kw以上、260kw以下） を搭載した建設機械に限る</p>

1-15. 交通安全管理

（安全対策費）

安全対策については、交通誘導員及び保安要員を計上していないが、道路管理者や所轄警察署、地元との打合わせの結果により変更等が生じた場合は監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。また、条件変更及び受注者にて特に必要と認めた場合は、その対

策等について監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

(安全施設類)

標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置する他、道路管理者及び所轄警察署と打合わせを行い実施するものとする。なお、打合わせの結果又は条件変更等に伴い、道路保安施設設置基準（案）以上の保安施設類が必要な場合、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

(交通誘導員の有資格)

1. 本工事に配置する交通誘導員は、警備員等の検定等に関する規則（平成 17 年 11 月 18 日国家公安委員会規則第 20 号）等に基づき、交通誘導警備検定合格者（1 級又は 2 級）を配置することとする。

2. 受注者は、配置した交通誘導警備検定合格者の検定合格証（写し）を監督員に提出するものとする。

(交通誘導員の配置)

交通誘導員については、計上していないが、道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果又は、条件変更等に伴い日当たり員数に増減が生じた場合は、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする（編成は最大配置時）。

工事内容	編成	昼夜間	全体員数	交替要員の有無
遊具更新・設置	交通誘導員 B	昼間	一人	無
	保安要員	昼間	一人	無

なお、交通誘導員 A, B の定義は次のとおり。

交通誘導員 A: 警備業者の警備員（警備業法第 2 条第 4 項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第 1 条第 4 号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る 1 級検定合格警備員又は 2 級検定合格警備員

交通誘導員 B: 警備業者の警備員で、交通誘導員 A 以外の交通の誘導に従事するもの。

(特殊車両通行許可制度の徹底)

道路法第 47 条の 2 に基づく通行許可の確認において、受注者は下記の資料を監督員に提出し、確認を得なければならない。

車両制限令第 3 条における一般制限値を超える車両について

- ① 施工計画書に一般的制限値を超える車両を記載
- ② 出発地点、走行途中、現場到着地点における写真（荷姿全景、ナンバープレート等通行許可書と照合可能な写真）なお、走行途中の写真撮影が困難な場合は監督員の承諾を得て省略できるものとする。
- ③ 通行許可書の写し
- ④ 夜間通行が条件の場合、車両通行記録計（タコグラフ）の写し

1-16. 諸法令の遵守

1. 受注者は、労働基準法等の趣旨に則り、労働時間については遵守しなければならない。
2. 受注者は、道路法、道路運送車両法及び道路交通法の趣旨に基づき、資材運搬等に必要車両の諸元について当該法律を遵守しなければならない。なお、道路法第47条第1項に該当する車両を通行させる際には事前に道路管理者の許可を得るものとする。
3. 受注者は過積載防止について、その具体的内容を施工計画書に記載するものとする。

1-17. その他

1. 関係各署における各届出書は期限までに必ず提出するものとする。
2. 関係機関における連絡は確実に実施すること。特に地元自治会において工事のPRを市の監督員と協議し徹底するものとする。
3. 施工時期、施工方法については各関係機関より承諾を得てから施工するものとする。
4. 本工事の施工上、知り得た情報を他人に漏らしたり利用してはならない。
5. 各工種においては、現地の状況等により数量変更の可能性があることを認識し、変更が生じた場合は監督員と協議し速やかに対応すること。
 - ①最終の設計変更に伴う資料については、工期の1ヶ月前までに受注者が十分精査したうえで提出するものとする。
 - ②受注者は、配置、仕様、形状、延長等も含め、工事完成後の現場と整合するように竣工図を作成し、監督員に提出するものとする。
6. 安全施設類・防音施設類においては、周辺住民の生活環境への配慮をするものとする。

第2条 特記事項

2-1 コンクリート

1. 本工事に使用するレディミクストコンクリートは、(適)マーク取得工場に限定する。
2. 本工事に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては、55%以下、無筋コンクリートについては、60%以下とするものとする。

2-2 安全領域

新設遊具の安全領域を確実に確保した位置に設置すること。なお、設置位置については事前に監督員に承諾を得ること。

2-3 その他

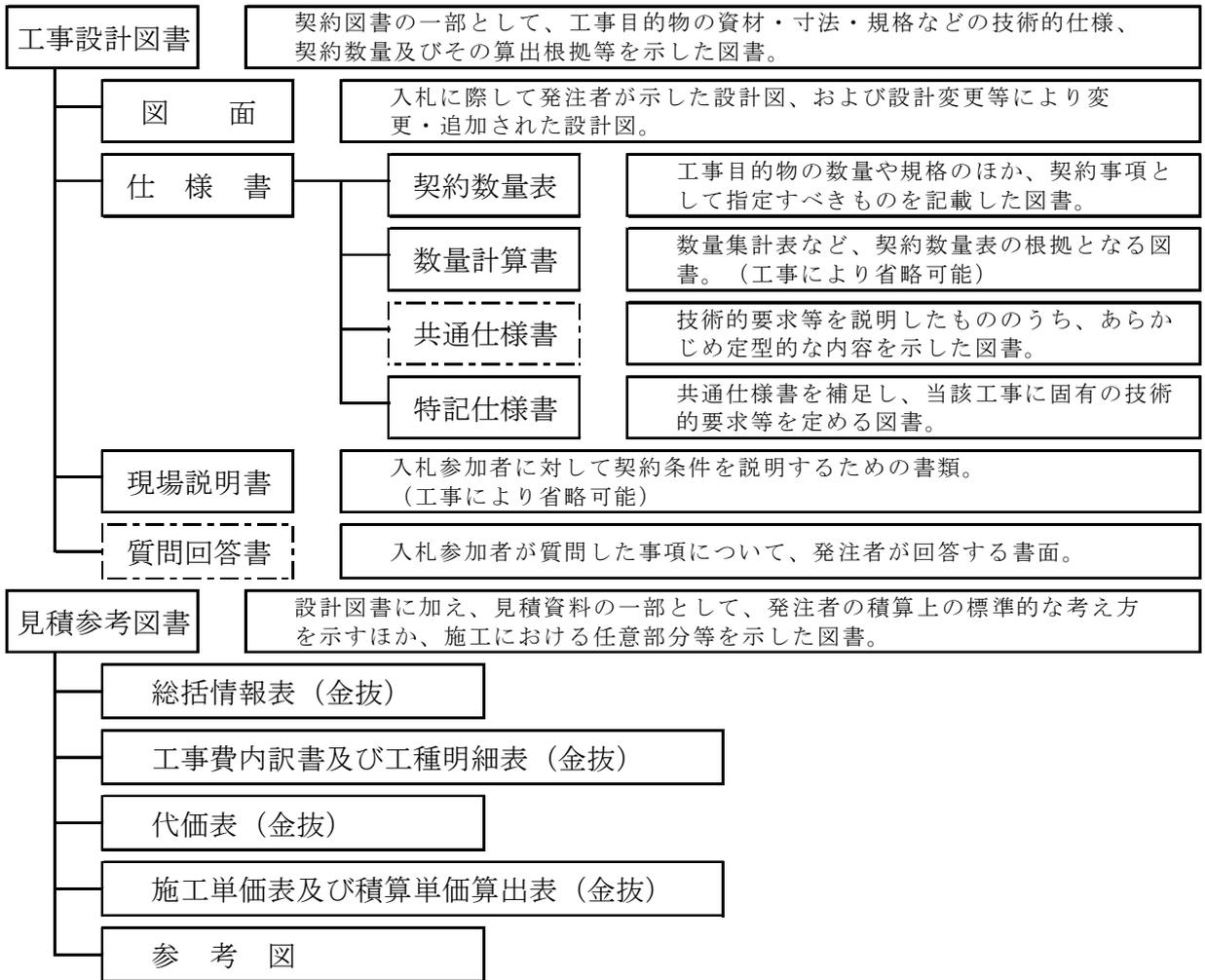
1. 遊具を設置してから開放までの期間が長くないように工程管理を行うこと。
2. 遊具を引き渡すまではバリケードで囲うなど、公園利用者が使用できないようにすること。
3. 遊具の設置位置は地元立会の上決定するものとする。
4. 遊具の設置は「遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S:2014」（一般社団法人 日本公園施設業協会）の基準を順守すること。

5. 現場代理人は他工事と兼務することを認める。
6. 遊具の単価決定についてはメーカーから見積もりを徴収し、物価資料に掲載されている類似品目を合わせて徴収する等により、物価スライドを行っている。
7. 遊具の設置歩掛は「造園修景積算の手引き」（一般財団法人建設物価調査会）のスプリング遊具設置工やベンチ据付歩掛を参考に決定している。
8. 低入札調査基準価格又は最低制限価格は、スクラップ控除を直接工事費に含めて算出している。

2-4. 見積参考図書

設計図書の他に交付する「見積参考図書」とは入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、明石市工事請負契約約款 第1条でいう設計図書ではない。従って、「見積参考図書」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件及び地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。なお、「見積参考図書」の有効期限は、本工事の入札（見積日）までとする。（下記参照）

本工事の内容については、契約数量表・数量計算書・設計図面のうち、契約数量表を優先する。



以上

■ 数量総括表

工事区分	細別	名称	規格	数量	単位	備考	
							工種
							種別
施設整備							
公園土工							
作業土工							
床掘り							
		床掘		8.4	m3		
埋戻し							
		埋戻し		7.9	m3		
遊戯施設整備工							
遊具組立設置工							
スライド遊具							
		ハニー	株式会社コトブキ、CP-01473	2	基		
		ノリノリレーシングカー	株式会社中村製作所、NRI-RC(RC)	1	基		
		リンクミニしょうぼうしゃ	日都産業株式会社、LK-11	4	基		
		リンクミニひこうき	日都産業株式会社、LK-09	1	基		
		ツイスター	タカオ株式会社、PG31-NHS010	1	基		
遊具基礎工							
遊具基礎							
		基礎砕石		3.0	m2	0.36*2+0.35+0.35*4+0.35+0.36	
		型枠	一般型枠・小型構造物	6.0	m2	0.6*2+0.8+0.7*4+0.7+0.8	
		コンクリート	小型構造物	0.8	m3	0.075*2+0.096+0.084*4+0.084+0.1	
		型枠	一般型枠・鉄筋無筋構造物	0.1	m2		
		コンクリート	均しコンクリート	0.02	m3		
構造物撤去工							
構造物取壊し工							
		コンクリート構造物取壊し					
		構造物取壊し工 無筋構造物		0.5	m3		
運搬処理工							
		殻運搬		0.5	m3		
		殻処分		1	式		
		現場発生品運搬処分		1	台		
公園施設等撤去・移設工							
公園施設撤去							
		スプリング遊具撤去工		7	基		
スクラップ控除			鉄屑	0.1	t		

■ 土工集計表

公園名	設置・撤去	数量	単位	備考
土工集計				
福里池の下公園				
設置	床掘	0.936	m3	ハニー(ビー)
	埋戻し	0.825	m3	
撤去	床掘	0	m3	撤去済
	埋戻し	0	m3	
谷八木ポプラ公園				
設置	床掘	1.723	m3	リンクミニしょうぼうしゃ、ツイスター
	埋戻し	1.449	m3	
撤去	床掘	0	m3	土工は設置と兼ねる
	埋戻し	0	m3	
西岡ウバメガシ公園				
設置	床掘	1.574	m3	リンクミニしょうぼうしゃ、リンクミニひこうき
	埋戻し	1.336	m3	
撤去	床掘	0.137	m3	1基
	埋戻し	0.248	m3	
花園2号公園				
設置	床掘	1.788	m3	ノリノリレーシングカー、リンクミニしょうぼうしゃ
	埋戻し	1.537	m3	
撤去	床掘	0.274	m3	2基
	埋戻し	0.496	m3	
西明石こだま公園				
設置	床掘	0.936	m3	ハニー(ビー)
	埋戻し	0.825	m3	
撤去	床掘	0	m3	土工は設置と兼ねる
	埋戻し	0	m3	
東二見東大歳公園				
設置	床掘	0.787	m3	リンクミニしょうぼうしゃ
	埋戻し	0.668	m3	
撤去	床掘	0.274	m3	2基
	埋戻し	0.496	m3	

合計	床掘	8.4	m3
	埋戻し	7.9	m3

残土処分工

$$8.4 - 7.9 / 0.9 =$$

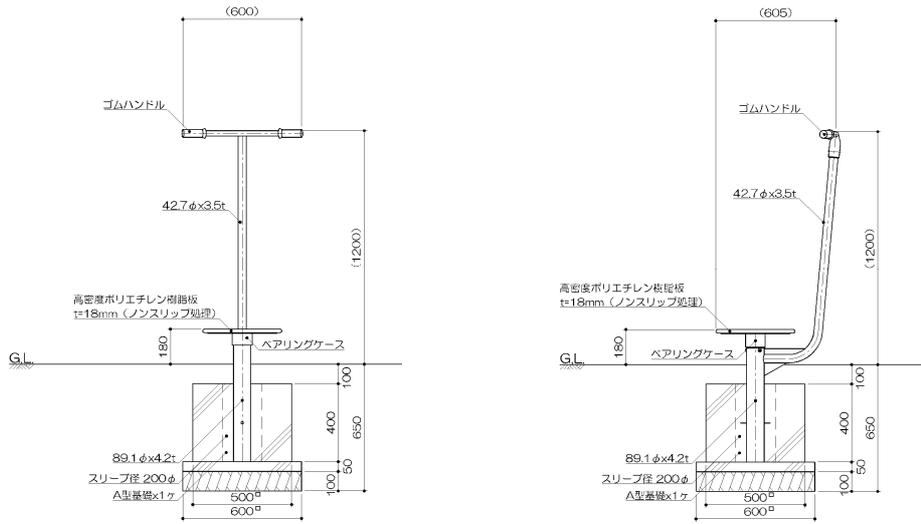
$$-0.3 \text{ m3}$$

材 料 計 算 書

名 称

ツイスター

1 式 当 り



細 別	規格・形状	計 算 式	単 位	数 量
基礎砕石	RC-40 t100	$0.6 \times 0.6 = 0.360$	m ²	0.360
型枠		$0.5 \times 0.4 \times 4 = 0.800$	m ²	0.800
コンクリート	18-8-40BB	$0.5 \times 0.5 \times 0.4 = 0.100$	m ³	0.100
均しコンクリート	18-8-20BB	$0.6 \times 0.6 \times 0.05 = 0.018$	m ³	0.018
均し型枠		$0.6 \times 0.05 \times 4 = 0.120$	m ²	0.120
床掘り		$1.2 \times 1.2 \times 0.65 = 0.936$	m ³	0.936
埋戻し		$0.936 - (0.36 \times 0.1 + 0.018 + 0.1 + 0.1 \times \pi / 4 \times 0.0891^2) = 0.781$	m ³	0.781
残土処分		$0.936 - 0.781 = 0.155$	m ³	0.155

撤去数量

公園名	スプリング遊具	単位	備考
福里池の下公園	0	基	撤去済
谷八木ポプラ公園	1	基	スライド遊具と同等基礎と想定
西岡ウバメガシ公園	1	基	スライド遊具と同等基礎と想定
花園2号公園	2	基	スライド遊具と同等基礎と想定
西明石こだま公園	1	基	スライド遊具と同等基礎と想定、
東二見東大歳公園	2	基	スライド遊具と同等基礎と想定
計	7	基	

集計表

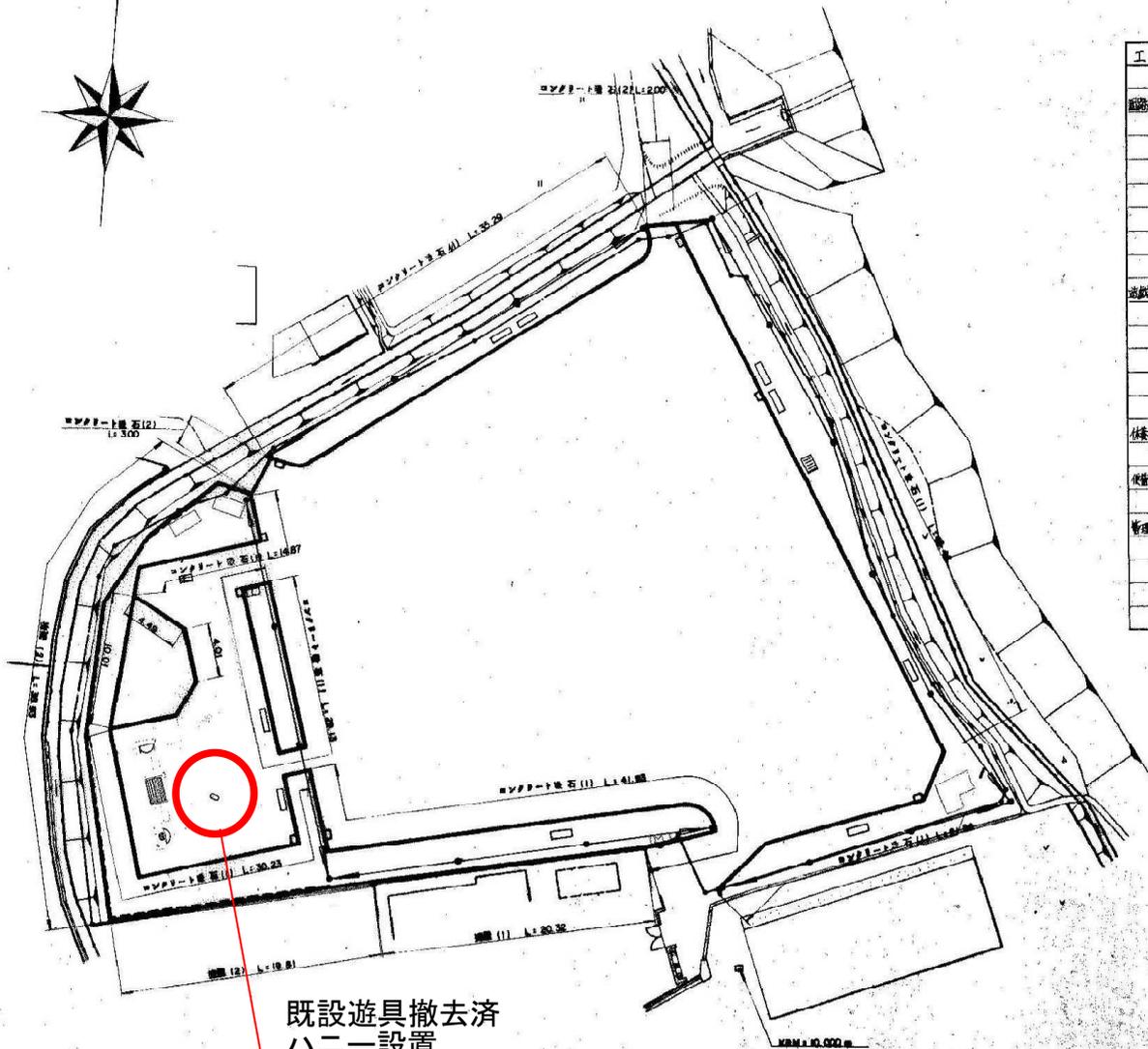
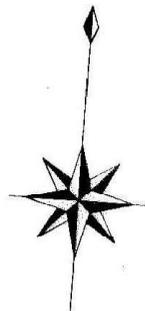
名称	規格	運搬距離	名称	単位	数量/基	数量	計上数量
コンクリート殻	無筋	9.7Km	基礎	m ³	0.08	0.56	0.5
廃棄プラスチック			遊具	kg	1.3	9.1	9.0
鉄			スプリング	kg	19.4	135.8	135.0

図面目次

図番	公園名	住所地
1	福里池の下公園	二見町福里字池ノ下551番の1
2	谷八木ポプラ公園	大久保町谷八木字口北野1106番-5
3	西岡ウバメガシ公園	魚住町西岡字西台1865-6
4	花園2号公園	西明石町2丁目827番の26
5	西明石こだま公園	西明石西町90番
6	東二見東大歳公園	二見町東二見字東大歳117番7

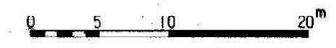
図番	メーカー	遊具
7	(株)コトブキ	ハニー
8	(株)中村製作所	ノリノリレーシングカー
9	日都産業(株)	リンクミニしょうぼうしゃ
10	日都産業(株)	リンクミニひこうき
11	タカオ(株)	ツイスター

福里池の下公園



既設遊具撤去済
ハニー設置

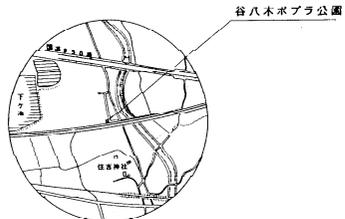
工種	記号	名称	形状寸法	設計数量	単位	備考
造園工事	≡	擁壁-1	空欄1ロツク	20.5	m	
	≡	・-2	壁力道	1	式	
	≡	1779+1666-1	210×133+600	222.6	m	
		・-2	120×600	6.7	m	
		真砂土舗装	100	1616.3	m ²	
造園工事	□	スベリ台		1	基	
	□	4層フアンコ		1	式	安全柵
	D	竹 垣		1	・	
	○	小遊具	スツバ式 1-3	1	・	
	—	鉄 棒	3連	1	基	砂 設
造園工事	□	ベンチ		9	個	
造園工事	□	水飲み		1	基	
管理施設工	---	フェンス	H=1.2	56.2	m	
	→			1	式	
	■	物 置	プレハブ	1	基	



図番1

図号 61 第2版
 福里池の下公園整備工事
 福里池二島町福里池の下地内
 現況配置図
 縮尺 1:400
 昭和55年10月10日現在

位置図



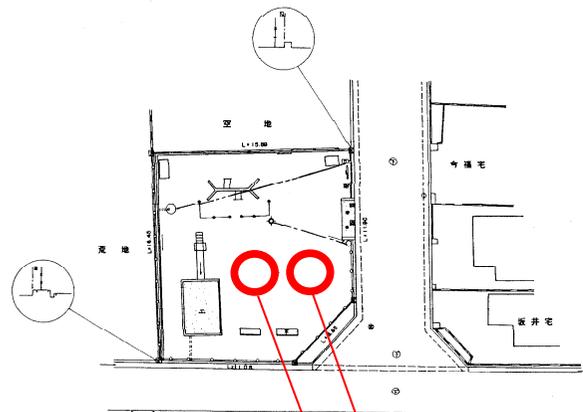
谷八木ポプラ公園

谷八木ポプラ公園現況平面図



大久保町谷八木

凡 例				
公園施設				
記号	名称	品質寸法	数量	単位
	コンクリート	コンクリート	5.1	m ²
	コンクリート舗装	コンクリート	17.50	m ²
	コンクリート縁	コンクリート	15.6	m
	砕石	w.180		
	リ字溝	コンクリート	32.2	〃
		600×500×50		
	ベンチ	合成樹脂製 (背もたれ付)	1	基
		木製 (背もたれ付)	1	〃
	ブランコ	鉄製	2	基
	スベリ台	鉄製	1	〃
	砂場	コンクリート	14.3	m ²
	水塔台		1	基
	水塔台		1	基
	草止	鉄製	2	〃
	物置	木製 0.9×1.8 鉄製 1.5×2.2	2	基
	金網柵	鉄製	41.9	m
	鉄柵	鉄製		
		プランコ用鉄柵 H=0.55	5.1	〃
	照明灯	水塔灯	1	基
	引込柱	鉄製	1	〃
	噴水塔		1	〃
	告示板	木製	1	〃
	舗装	ビューム管 φ150	10	m



スプリング遊具撤去 1基
ツイスター設置

リンクミニしょうぼうしゃ設置



公園名	谷八木ポプラ公園
所在地番	明石市大久保町谷八木字成田 / 01 / 番01
名称	施設平面図
縮尺	作成年/月 57.3
明石市都市計画部公園緑地課	

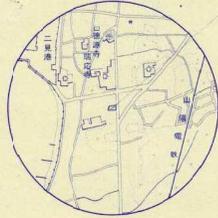
図番2

西岡ウバメガシ公園現況平面図

S=1:200

位置図

西岡ウバメガシ公園

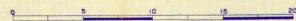
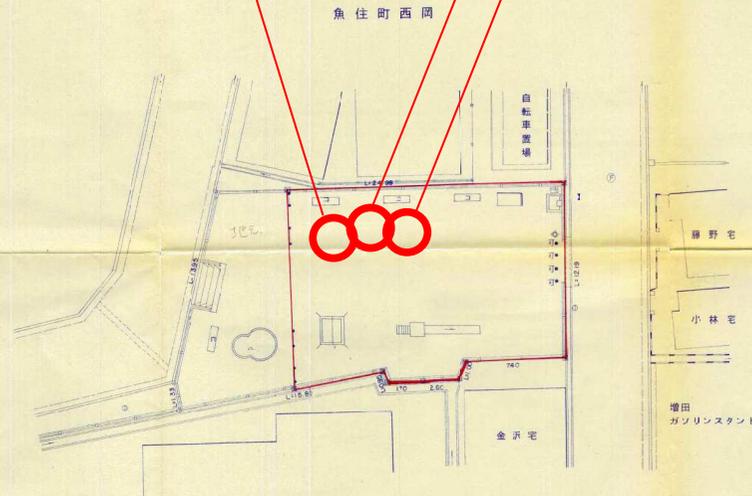


リンクミニしょうぼうしゃ設置

スプリング遊具撤去 1基

リンクミニひこうき設置

凡 例				
公 園 施 設				
記 号	名 称	品質寸法	数量	単位
—	コンクリート 縁	コンクリート W=150	8.0	m
□	ベンチ	コンクリート	4	基
□	スベリ台	鉄製	1	基
○	砂 場	コンクリート	3.9	m ²
□	安全ブランコ	鉄製	1	基
□	水 呑 台	コンクリート	1	基
□	車 止	鉄製	4	基
□	物 置	1.5×0.8 鉄製	1	棟
—	鉄 橋	H=10.00 プランコ用鉄製	78.5	m
—	〃	H=6.50	4.0	m
◇	照 明 灯	水 銀 灯	1	基
□	量 水 器		1	基



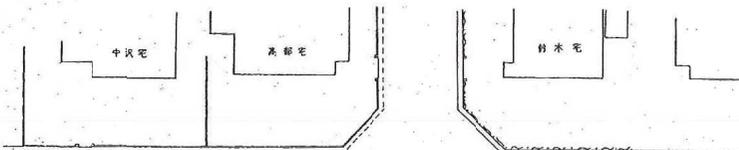
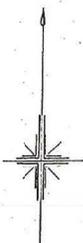
図番3

公園名	西岡ウバメガシ公園
所在地番	明石市 魚住町西岡字西台 / 863番の6
名 称	施設 平面図
縮 尺	1:200 作成年月 57.3
明石市都市計画部公園緑地課	

位置図



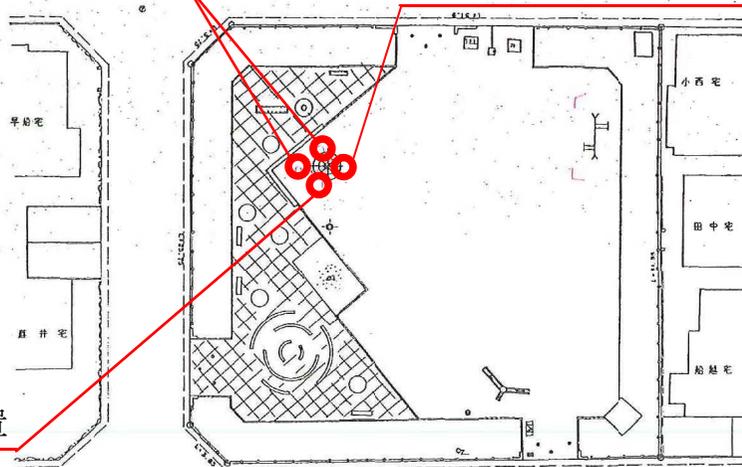
花園2号公園現況平面図



スプリング遊具撤去 2基

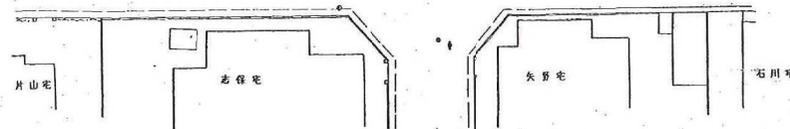
ノリノリレーシングカー設置

凡 例				
公園施設				
記号	名称	品質・寸法	数量	単位
	コンクリート舗装		167.2	m ²
	緑石	コンクリートブロック 600×300×150	110.0	m
	ベンチ	コンクリート	4	基
	アランコ	鉄製2連	1	基
	スベリ台	鉄製	1	基
	シャングルシム		1	基
	草場	コンクリート	15.9	m ²
	トンネル管		1	基
	プレイアウト		2	基
	プレイ スカルプチャー		1	基
	水鉄		1	基
	クズ入れ	鉄製	1	基
	車止	コンクリート	9	基
	園門	コンクリートブロック	6	基
	物置	2.1×2.1	1	個
		鉄製 1.0×1.4	1	基
	金網扉	H=0.8	108.6	m
	照明灯	水銀灯	1	基
	引込柱	鉄製	1	基
	噴水塔		1	基



リンクミニしょうぼうしゃ設置

西
明
石
町
2
丁
目

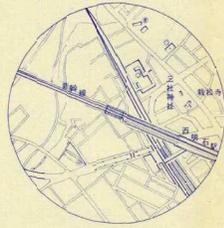


図番4

公園名	花園2号公園
所在地番	明石市西明石町2丁目827番の26
名称	鈴鹿平野園
積尺	作成年月 56.3
明石市都市計画部公園緑地課	

柵
スプリング遊具2基

位置図



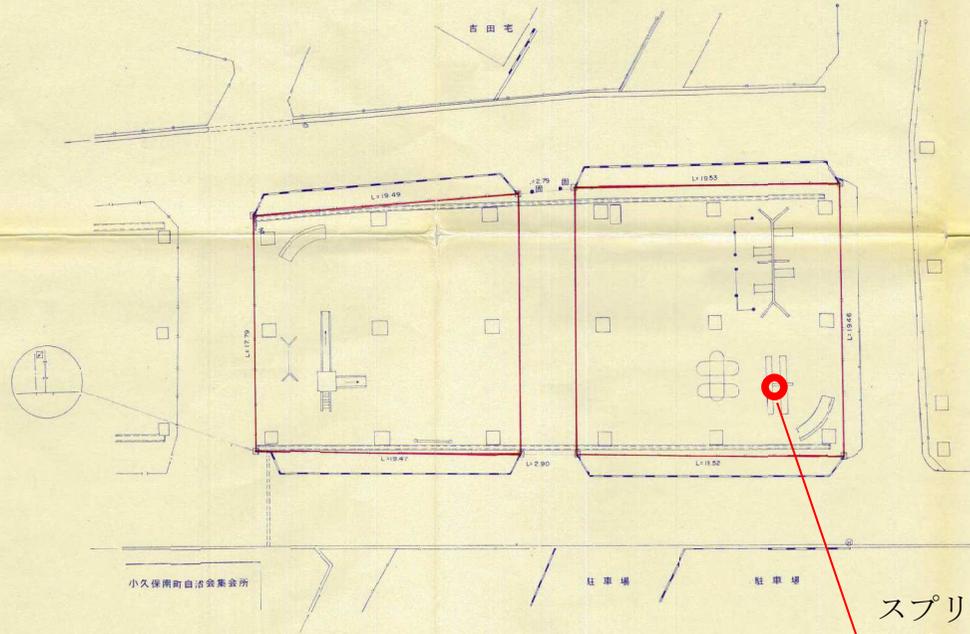
西明石こだま公園

西明石こだま公園現況平面図 S=1:200



小久保

凡 例				
公園施設				
記号	名称	品質寸法	数量	単位
	U字溝	コンクリート 600x100x300	64.9	m
	ベンチ	合成樹脂 (背もたれ付)	2	基
	プランコ	鉄製	1	基
	ジャンプ	鉄製	1	基
	スベリ台	鉄製	1	基
	鉄梯	鉄製 / 速 H=0.9	1	基
	シーソー	木製	1	基
	車止	木製	2	基
	園名板	鉄製	1	基
	物置	鉄製 0.55x1.00	1	棟
	鉄柵	鉄製 H=0.8	93.8	m
	プランコ	用鉄製 H=0.7	7.2	基



スプリング遊具撤去 1基
ハニー設置

図番5



公園名	西明石こだま公園		
所在地番	明石市 小久保字西谷?の用地先		
名称	施設平面図		
縮尺	1:200	作成年月	57.3
明石市都市計画部公園緑地課			

凡例

記号	RC立上壁
記号	緑石
記号	インターロッキング舗装
記号	メッシュフェンス 縦口ステン工用KK、UHフェンスA型

施設内容

スプリング遊具撤去 2基

名称	製品番号	寸法	数量
すべり台 SUS製	KK、タイキ SL-1a	3,600x1,200xH2,130	1台
スプリング遊具	KK、コトブキ CP-93202A(1台)	1,815x900	1台
	KK、コトブキ CP-93204A(1台)	1,1070x815	1台
砂場		3,000x1,500xH2450	1ヶ所
散水栓			1ヶ所
水蚊焼	KK、コトブキ EE-84040、EX-84560 黒い2層構造	1,025x550xH800	1ヶ所
ベンチ(木製)	KK、コトブキ EX-13051T	1960x400xH1300-1350	2脚
	KK、コトブキ EX-13351T	1200x440xH1300	1脚
照明灯	大光電機 KK、000-10051、T9541	400x100xH1700	2灯
物置	KK、建築研究所 W02-660CP RC基礎フラー固定	812x752xH1425	1台
ゴミ入れ	KK、コトブキ EX-34220	385x385xH650	1台
バリアー 脱着式鍵付	カキツウ KK、EA0485-BL	460,5xH650	2本

防火水槽仕様

二次吸出し防火水槽 40㎡	6,400x2,600xH1,500(標準)
	912XEE 777/60X17PE-C (型: E-962009)

植栽凡例

高木					
記号	種別	樹種	H×W(m)	本数	備考/土壌改良剤(バーク)
⊕	常広	クスノキ	3.5×1.0	1本	2層風庭, 5kg/株
⊕	落広	アケビ	3.0×1.0	1本	2層風庭, 5kg/株
⊕	常広	クログナモチ	3.0×1.0	1本	1本風庭, 5kg/株
合計				3本	

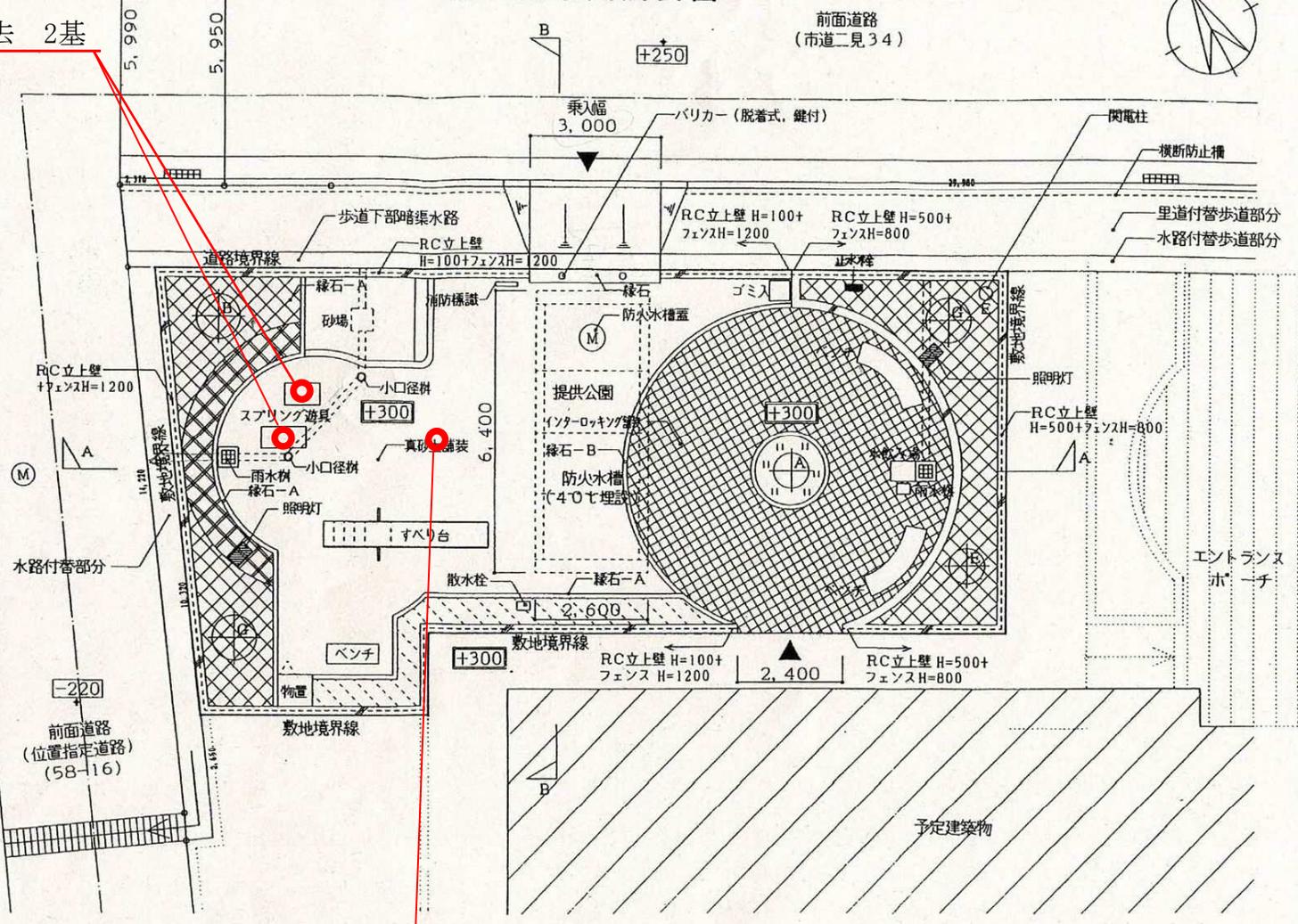
中木					
記号	種別	樹種	H×W	本数	備考/土壌改良剤(バーク)
⊕	常広	グックイジュ	2.0×0.5	2本	1本風庭, 5kg/株
合計				2本	

低木					
記号	種別	樹種	H×W	本数	備考/土壌改良剤(バーク)
植込-a	常広	オオムギヤナギ	0.5×0.6	173株	1kg/株
植込-j	常広	ビヨウヤナギ	0.4×0.3	75株	1kg/株
植込-k	落広	ガクアジサイ	0.5×0.4	46株	1kg/株
合計				294株	

地被類・芝地

記号	種別	樹種	H×W	本数	備考/土壌改良剤(バーク)
植込-l		コウライ芝			

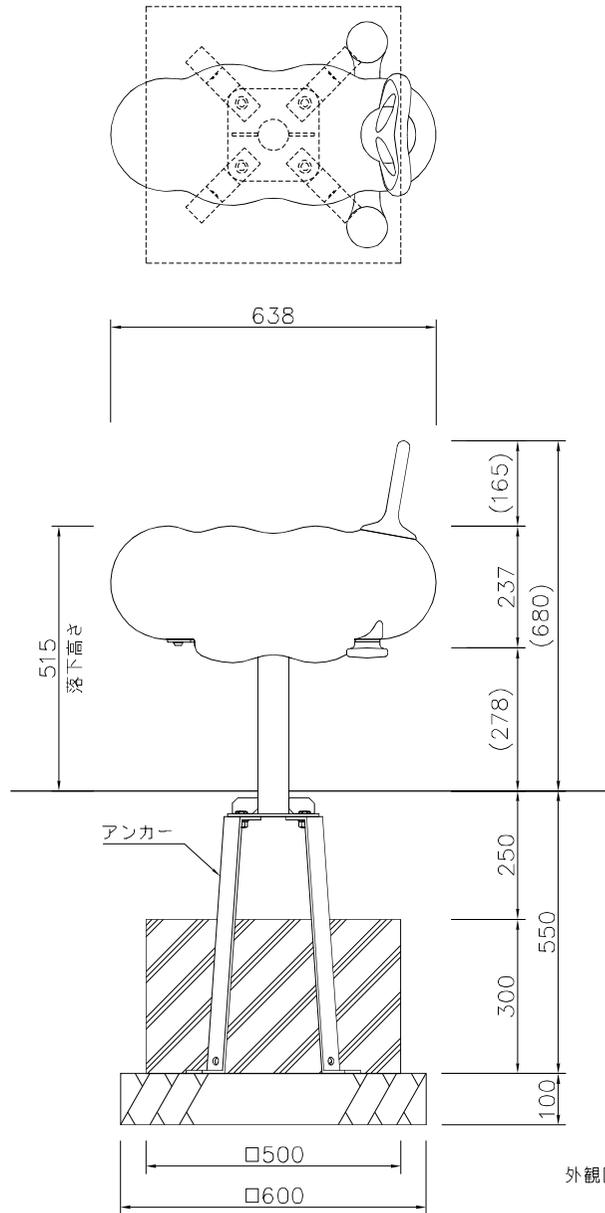
東二見東大歳公園



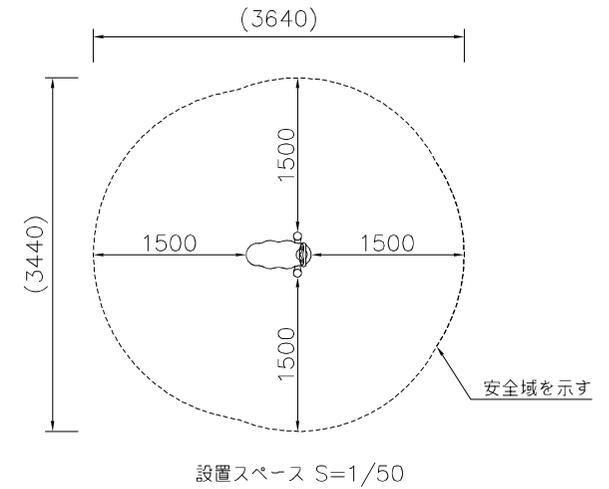
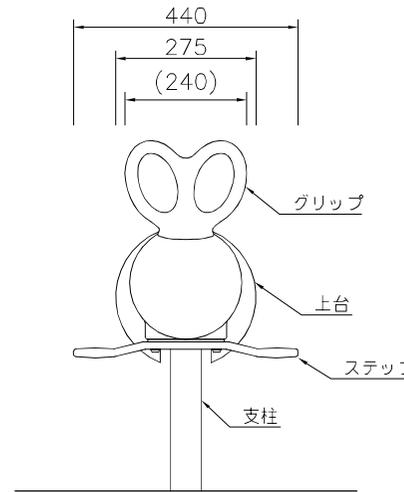
リンクミニしょうぼうしゃ設置

図番6

開設区域



外観図 S=1/10



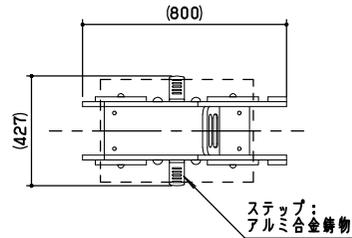
上台 : FRP成形品 合成樹脂塗装 (イエロー)
 グリップ : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (オレンジ)
 ステップ : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (オレンジ)
 支柱 : $\phi 60.5 \times t 3.8$ 鋼管
 溶融亜鉛メッキ 合成樹脂塗装 (ライトグレー)
 機構部 : マルチリンク機構 (ストッパーゴム付)
 アンカー : t6X44 平鋼 溶融亜鉛メッキ

質量 : 23kg

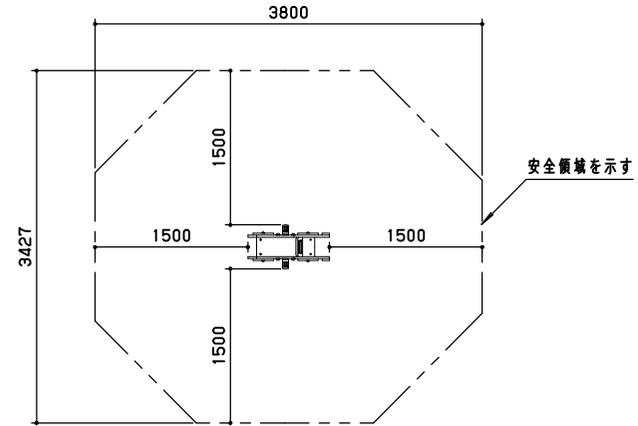
⚠ 設置上の注意
 ・本製品の専有スペースとしての安全域を確保すること。
 ・落下等による危険を最少にするために安全域内の設置面には適切な衝撃吸収性を有する材料を敷設すること。
 ・基礎上面は図のように必ず地面から下げて施工すること。
 ・本製品はおおむね3才～6才を対象にデザインされています。
 ・本製品はJPFA-SP-S: 2014に準拠した製品です。
 ・本製品は(一社)日本公園施設業協会の団体加入する公園施設団体賠償責任保険制度を適用します。

図番7

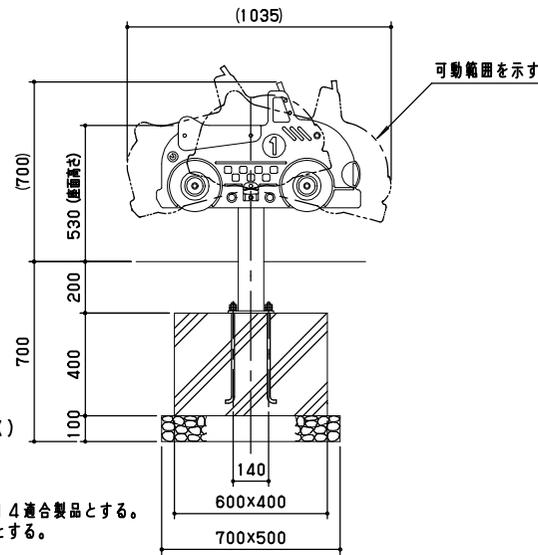
		PROJECT	DATE	SCALE	FILE NO.	
		ハニー	2016/12/01	1/10		
		CP-01473	DRAWN	CHECKED	APPROVED	
			山本(和)	土屋	上野山	
		DWG. NO.	E3P0759-008		3	



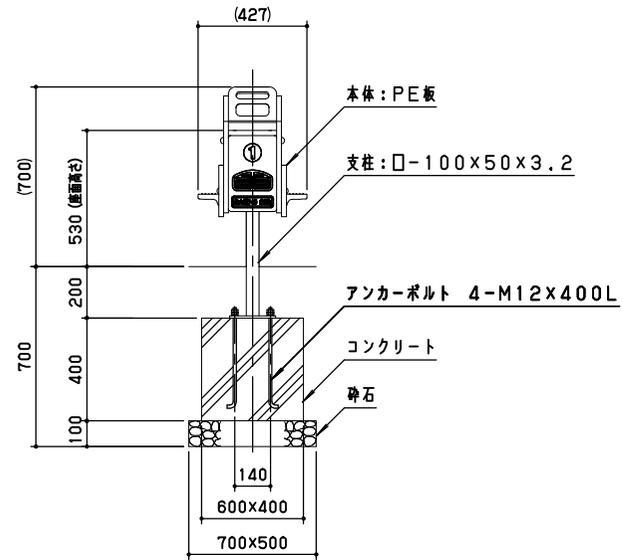
平面図 S=1/20



安全領域 S=1/50



立面図 S=1/20

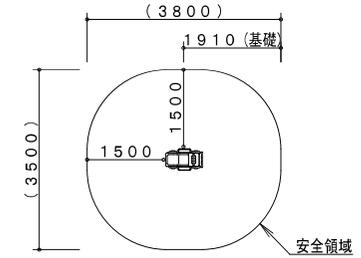
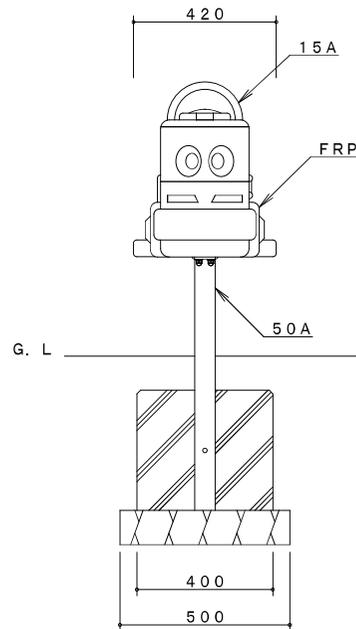
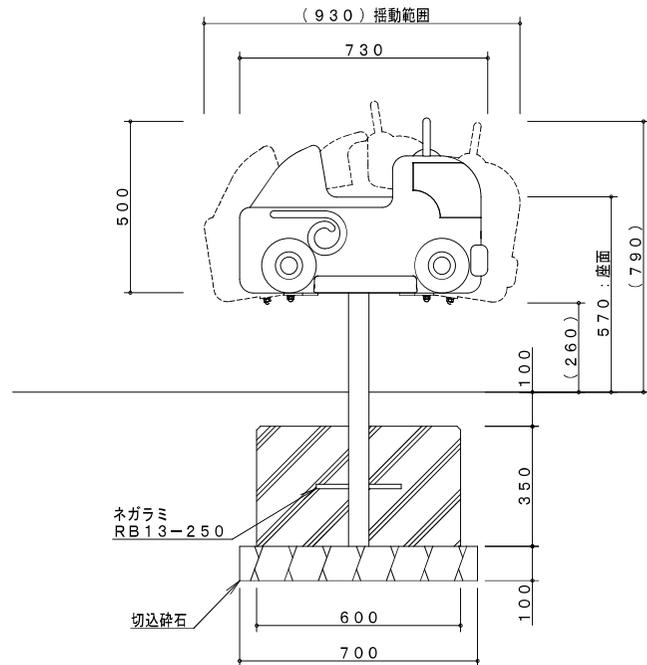
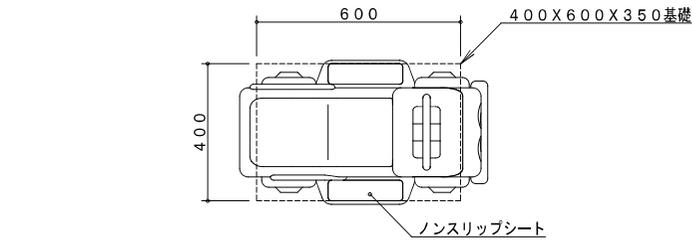


側面図 S=1/20

図番8

本体は、PE（ポリエチレン）板とする。
 鋼材は、電気亜鉛メッキ処理とし、見えかきり部のみ
 ポリエステル樹脂粉体塗装（タン）仕上げとする。（支柱を除く）
 支柱は、溶融亜鉛メッキ処理とする。
 アルミ合金鋳物は、AC3Aとし、
 アクリル樹脂塗料焼付塗装（パールグレー）仕上げとする。
 本製品は、遊具の安全に関する規準JPFA-SP-S:2014適合製品とする。
 本製品は、（一社）日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
 本製品は、ISO9001認証取得企業製品とする。
 本製品は、（株）中村製作所製品同等品以上とする。
 本製品の利用対象年齢は、3～6才とする。（幼児は保護者監督のもとで遊ばせること）
 安全領域内には、障害物等がないものとし、
 落下高さに見合った衝撃吸収性能を有する素材を敷設する。

改訂事項			検図	設計	製図	単位	尺度	名称	ノリノリレーシングカー	分類	F-STD01	株式会社 中村製作所 NAKAMURA MFG. CORPORATION			
特記仕様変更	14.12.01	森	岩満	本間	小川	mm	図示	型番	NR1-RC (RC)	図面番号	NR1RCRC-301B				
緩衝材削除	14.03.27	酒井麻	番号	1/1		備考	RC基礎仕様			年月日	2013.03.07	JOB	STD	DWG SIZE	A3

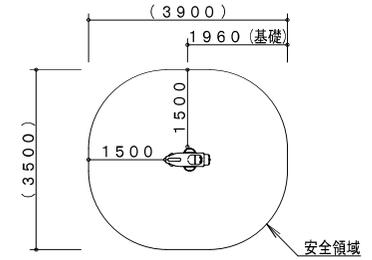
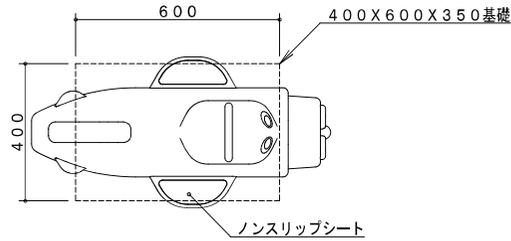


※製品外形からの寸法を示す
安全領域 S=1/100

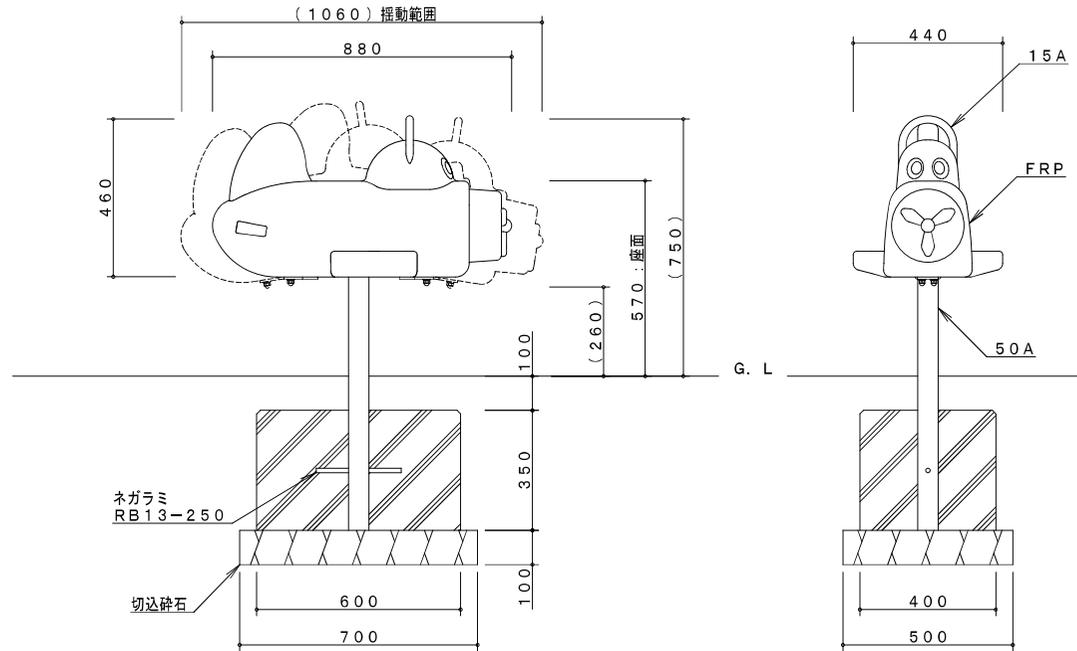
図番9

製品仕様
支柱(50A)は、溶融亜鉛メッキ処理とする。ハンドル(15A)は、粉体塗装とする。
その他の鋼材、ボルト・ナットは、電気亜鉛メッキ処理とする(基礎部品は除く)。
利用対象年齢は、幼児(3才~6才)とする。
ISO9001・ISO14001の認証取得企業で品質管理された製品とし、(一社)日本公園施設業協会の賠償責任保険付とする。本製品は、遊具の安全に関する規程JPFA-SP-S:2014に準拠した製品とする。

主要鋼管	15A	外径21.7	肉厚2.8	品名	LK-11		
	50A	外径60.5	肉厚3.8		リンクミニ しょうぼうしゃ		
				図番	LK-11B		
				尺度	1/15	作図日	2014. 9. 30



※製品外形からの寸法を示す
安全領域 S=1/100

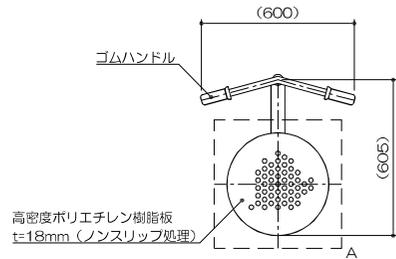


図番10

製品仕様
支柱(50A)は、溶融亜鉛メッキ処理とする。ハンドル(15A)は、粉体塗装とする。
その他の鋼材、ボルト・ナットは、電気亜鉛メッキ処理とする(基礎部品は除く)。
利用対象年齢は、幼児(3才~6才)とする。
ISO9001・ISO14001の認証取得企業で品質管理された製品とし、(一社)日本公園施設業協会の賠償責任保険付とする。本製品は、遊具の安全に関する規程JPFA-SP-S:2014に準拠した製品とする。

主要鋼管	15A	外径21.7	肉厚2.8	品名	LK-09
	50A	外径60.5	肉厚3.8		リンクミニ ひこうき
				図番	LK-09B
				尺度	1/15 作図日 2014. 9. 30

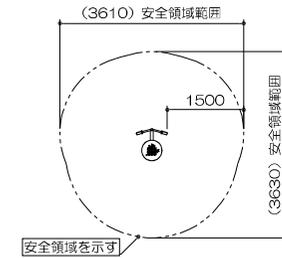
平面図
S= 1 : 20



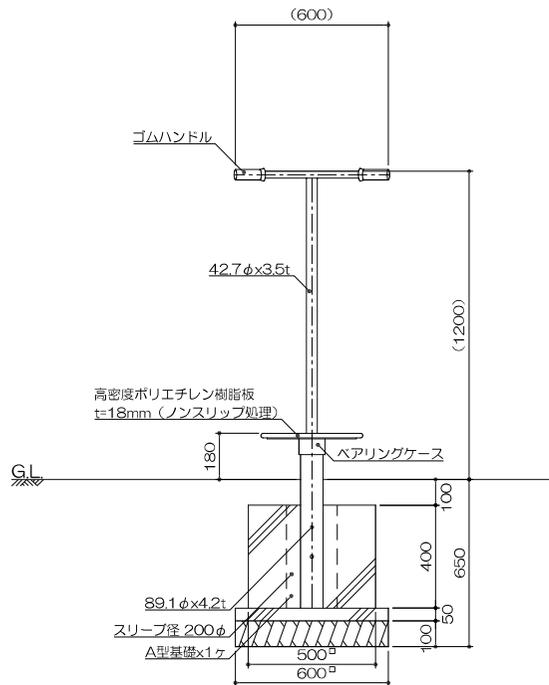
PG31-NHS010
ツイスター
S=図示 (MAE)

特記事項 (3)
 塗装 下地：ジクロロメトメッキ
 下塗：特殊エポキシ樹脂系プライマー塗装
 仕上：合成樹脂高温焼付塗装
 ボルト・ナットは全てステンレスとする。
 製品は、ISO9001・ISO14001両規格認証取得企業で製造された製品とする。
 製品は、SP表示認定企業で製造された製品とする。
 製品は、(一社)日本公園施設業協会・団体賠償責任保険に加入した製品とする。
 製品は、(一社)日本公園施設業協会が策定した
 「遊具の安全に関する規準 (JPFA-SP-S : 2014)」に適合した製品とする。
 製品は、大人を対象とした健康器具とする。

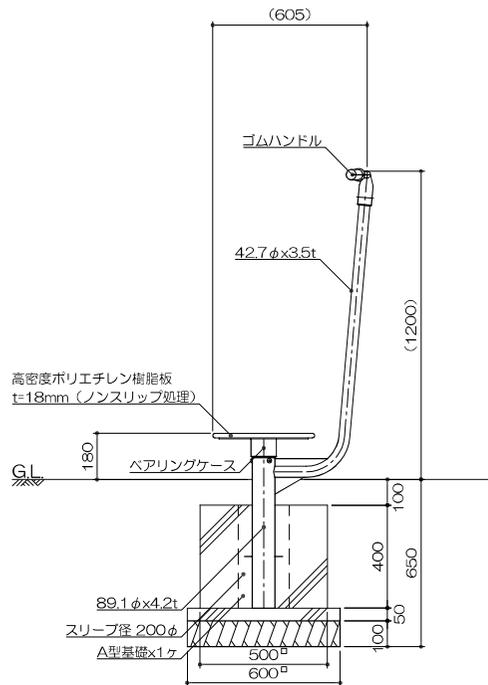
安全領域範囲
S= 1 : 100



立面図
S= 1 : 20



側面図
S= 1 : 20



図番11

令和4 年度 西明石こだま公園ほかスプリング遊具更新工事

見積参考図書

工事番号

路線名等 西明石こだま公園ほか

工事箇所 明石市西明石西町1丁目90番ほか

工 種 造園または土木一式

総括情報表

単価適用年月日	0-04.09.01(0)		
	今 回		前 回
工種区分 (公共) 施工地域区分	09 公園 36 市街地(DID補正)(1)-3		

工事費内訳書

	費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費											
施設整備											
公園土工											
作業土工											
遊戯施設整備工					式					工種	第0001号明細表
遊具組立設置工											
遊具基礎工					式					工種	第0002号明細表
構造物撤去工					式					工種	第0003号明細表
構造物取壊し工											
					式					工種	第0004号明細表

工事費内訳書

	費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般管理費等						
			式			
スクラップ控除						
			式			
	鉄屑 ペーパー H1					
		0.1	t			
工事価格計						
消費税相当額						
			式			
総 計						

工種明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
床掘り(掘削)					
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	8.4	m3			施工 第0-0001号内訳表
埋戻し					
埋戻し 上記以外(小規模) 土砂	7.9	m3			施工 第0-0002号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
スプリング遊具					
遊具設置 ハニー (株)コトブキ 材料・設置手間 共	2	基			施工 第0-0003号内訳表
遊具設置 ツイスター (タカオ株) 材料・設置手間 共	1	基			施工 第0-0004号内訳表
遊具設置 リンクミニしょうぼうしゃ (日都産業株) 材料・設置手間 共	4	基			施工 第0-0005号内訳表
遊具設置 ノリノリレーシングカー (株)中村製作所 材料・設置手間 共	1	基			施工 第0-0006号内訳表
遊具設置 リンクミニひこうき (日都産業株) 材料・設置手間 共	1	基			施工 第0-0007号内訳表
合計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
遊具基礎					
基礎碎石 碎石厚->7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシュ RC-30, RC-40	3	m2			施工 第0-0008号内訳表
型枠 一般型枠 小型構造物	6	m2			施工 第0-0009号内訳表
コンクリート 小型構造物	0.8	m3			施工 第0-0010号内訳表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	0.1	m2			施工 第0-0011号内訳表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	0.02	m3			施工 第0-0012号内訳表
合計	1	式			

構造物取壊し工

工種明細表

工種 第0004号明細表

頁0-0008/0028

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート構造物取壊し					
構造物とりこわし工 無筋構造物	0.5	m ³			施工 第0-0013号内訳表
合計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬					
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし	0.5	m3			施工 第0-0014号内訳表
殻処分					
処分費 コンクリート殻(無筋)	1	式			施工 第0-0015号内訳表
現場発生品運搬処分					
運搬費	1	台			施工 第0-0016号内訳表
処分費 []	1	式			施工 第0-0017号内訳表
合計	1	式			

床掘り
[規格1] 土砂 上記以外(小規模)

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0011/0028
m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホ(クロー型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホ(クロー型)			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土質	=1		土砂				
B	施工方法	=5		上記以外(小規模)				

埋戻し
[規格1] 上記以外(小規模) 土砂

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0002号内訳表

頁0-0012/0028
m3 当り

1

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホ(クローラ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホ(クローラ型)			
K2	タンバ及びピランマ 質量60~80kg			タンバ及びピランマ			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z2	ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	施工方法	=5	上記以外(小規模)				
B	土質	=1	土砂				

基礎砕石

[規格1] 砕石厚->7.5cmを超え12.5cm以下

[規格2] 再生クラッシャー RC-30, RC-40

積算単価算出表

施工 第0-0008号内訳表

頁0-0018/0028

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含)			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		再生クラッシャー RC-40			再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	砕石の厚さ	=2	7.5cmを超え12.5cm以下					
B	砕石の種類	=1	再生クラッシャー RC-30, RC-40					

型枠
[規格1] 一般型枠

[規格2] 小型構造物

積算単価算出表

施工 第0-0009号内訳表

1
頁0-0019/0028
m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		型わく工			型わく工			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	型枠の種類	=1	一般型枠					
B	構造物の種類	=2	小型構造物					

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-8-40BB 水セメント比60%以下			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	構造物種別	=2	小型構造物					
B	打設工法	=4	人力打設					
C	コンクリート規格	=9	18-8-40BB[水セメント比 60%以下]					
E	養生工の種類	=2	一般養生					
G	現場内小運搬の有無	=2	無し					

型枠
[規格1] 一般型枠

[規格2] 均しコンクリート

積算単価算出表

施工 第0-0011号内訳表

1
頁0-0021/0028
m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		型わく工			型わく工			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	型枠の種類	=1	一般型枠					
B	構造物の種類	=4	均しコンクリート					

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-8-40BB 水セメント比60%以下			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	構造物種別	=1	無筋・鉄筋構造物					
B	打設工法	=4	人力打設					
C	コンクリート規格	=9	18-8-40BB[水セメント比 60%以下]					
E	養生工の種類	=2	一般養生					
G	現場内小運搬の有無	=2	無し					

殻運搬

[規格 1] コンクリート(無筋)構造物とりこわし

[規格 2]

積算単価算出表

[摘要]

施工 第0-0014号内訳表

頁0-0024/0028

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	殻発生作業	=1	コンクリート(無筋)構造物とりこわし					
B	積込工法区分	=1	機械					
C	DID区間の有無	=2	有り					
D	運搬距離	=25	10.9km以下					

施工単価表

施工 第0-0018号内訳表

頁0-0028/0028

スプリング遊具撤去工

[規格1]	[規格2]	[摘要]			
名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
合計	10	基			
単位当り	1	基			